2023年度日本塑性加工学会東海支部賞募集要綱

**１．趣旨・目的**

　東海支部地区における塑性と加工に関する学術と技術の発展、および東海支部の発展に関して顕著な功績のあった研究、あるいは活動や行事における貢献に対して、これを顕彰する。それにより、東海支部地区の塑性あるいは塑性加工の地盤強化と、支部活動の活性化に資すること、さらには地域における産・官・学の連帯を強め、地域に密着した技術・研究の発展を促すことを目的とする。

**２．賞の種類と対象**

功労賞：東海支部の発展に特に顕著な貢献のあった個人に授与する。

研究賞：地区において、特に顕著な業績と認められた研究の主体に対して授与する。

技術賞：地区において、特に顕著な業績と認められた開発の主体に対して授与する。

（日本塑性加工学会賞を受賞した業績は対象としない）

**３．受賞候補者資格**

　原則として東海支部に所属する塑性加工学会員であること。個人としても会員であることが望ましい。

**４．募集の方法**

　応募は支部商議員（別紙）の推薦によるものとする。但し、商議員の推薦が無い場合には、東海支部事務局（庶務幹事）に相談する。

**５．提出書類**

　所定の**推薦書**に記載して提出する。研究賞、技術賞については、別に**「成果要約票」（所定様式）**および対象業績に関連する**発表論文、技術資料、特許資料など**の代表的なものを添付する。

**６．表彰の方法**

　選考審査は東海支部幹事会において行う。贈賞は、2023年4月の東海支部総会の際に行う。

**７．応募書類の提出締切日**

**2023年1月11日(水)→2月17日まで延長**

**８．提出先（PDF）**

日本塑性加工学会東海支部　(庶務幹事：安部 洋平)

TEL：0532-44-6705，FAX：0532-44-6690, E-mail: tokai@jstp.or.jp

○**2023年度東海支部賞の選考・授賞スケジュール**

1. 2022年9月：案内開始
2. 2022年11月25日：東海支部商議員に支部賞推薦の依頼，正会員・賛助会員への案内
3. 2023年 1月11日：応募書類の締切
4. 2023年 1月：第4回幹事会において候補者の提出書類を確認
5. 2023年 2月18日：支部幹事による投票締切り
6. 2023年 3月：第5回幹事会において投票結果を基に受賞者を決定
7. 2023年 4月：支部総会において支部賞の授与および受賞講演

日本塑性加工学会東海支部賞受賞者

第11回（平成20年4月21日）

* 功労賞 愛知製鋼㈱ 竹内　雅彦
* 功労賞 沼津工業高等専門学校 大賀　喬一
* 研究賞
  + 通電加熱加圧焼結による歯科補綴物クラウンの粉末成形法に関する研究

第一工業㈱ 久保田義弘

静岡大学 中村　保

同上 田中　繁一

同上 早川　邦夫

東京医科歯科大学 中村　英雄

同上 本村　一郎

* 技術賞
  + 円筒両端差厚品のプレス化技術の開発

㈱ニッパ 渡辺　敬文

同上 二村　隆泰

同上 鈴木　清巳

同上 金原　逸夫

同上 伊藤　達哉

第12回（平成21年4月24日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 大同大学 小野　宗憲
* 研究賞
  + テーパーカップ試験による高表面積拡大下における新しい潤滑剤評価方法に関する研究

大同特殊鋼㈱ 伊藤　樹一

同上 吉田　広明

同上 五十川幸宏

本田技研工業㈱ 土井　善久

名古屋工業大学 堂田　邦明

* 技術賞
  + 鍛造プロセス制御による高強度アルミニウム・サスペンションの開発

埼玉プレス鍛造㈱ 藁科　永充

トヨタ自動車㈱ 早坂　敏明

同上 壇　　博貴

住友軽金属工業㈱ 松田　眞一

㈱ソミック石川 藤田　浩一

* + 歯形鍛造品における成形シミュレーションの有効活用

ジヤトコ㈱ 田澤　純

同上 小野山浩一

同上 斎藤　巌

同上 上野　完治

日産自動車㈱ 藤川真一郎

第13回（平成22年4月24日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 愛知製鋼㈱ 小出　洋二
* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 静岡工業技術研究所 小林　久生
* 技術賞
  + 熱押し鍛造品の熱間インライン欠肉検査装置の開発

愛知製鋼㈱ 榊原　幸宏

同上 栗山　等

同上 安藤　堅一

第14回（平成23年4月27日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 光精工㈱ 津田　統
* 研究賞
  + フェムト秒レーザーを用いたピーンフォーミングの研究

静岡工業技術研究所 鷺坂　芳弘

* 技術賞
  + サーボプレスによるアルミベローズ成形技術の開発

やまと興業㈱ 小杉　昌弘

同上 川合　崇夫

静岡大学 早川　邦夫

同上 中村　保

第15回（平成24年4月26日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 元太平洋工業㈱ 片岡　幾男
* 技術賞
  + 超硬材表面の被膜剥離技術の開発及び超硬金型の再生実用化

ユケン工業㈱ 渡部　清彦

同上 佐藤　嘉高

トヨタ自動車㈱ 石川　博

第16回（平成25年4月18日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 ㈱三五 澤木　慎路
* 技術賞
  + 数値制御3ロール全自動転造機の開発及び商品化

㈱内藤 内藤　秀一

第17回（平成26年4月21日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 静岡大学 吉田　始
* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 サトープレス工業(株) 戸田　宗敬
* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 名古屋特殊鋼(株) 庄司　秀夫
* 技術賞
  + 高周波電流直接通電加熱金型によるCFRTPの迅速プレス成形技術の開発

(株)キャップ 高井　三男

同上 水谷　暢孝

同上 吉田　透

第18回（平成27年4月20日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 シムリサーチ 志村　栄治
* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 大西　章孔
* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 オフィスニューナレッジ 東　秀和
* 技術賞
  + 航空機主翼外板パネルのショットピーン成形技術の開発

三菱重工業(株) 小﨑　貴史

同上 深見　典明

同上 赤沼　宏輔

第19回（平成28年4月22日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 石原　貞男
* 研究賞
  + 鍛造における固体潤滑剤の性能評価と潤滑性能向上

名古屋工業大学 淺井　一仁

東京工業大学 寺野　元規

名古屋工業大学 北村　憲彦

* 技術賞
  + 精密中空シャフトの高精度生産プロセスの開発 (株)コーリツ 西村　章人

(株)コーリツ 道古　晋哉

(株)ケイ＆ケイ 安藤　弘行

(株)コーリツ 纐纈　英之

(株)コーリツ 天野　清

* 技術賞
  + 板鍛造の高度化によるトリプルカップ成形技術 (株)富士プレス 森　正廣

岐阜大学 王　志剛

スギムラ化学工業(株) 安藤　博仁

(株)富士プレス 蟹江　俊哉

第20回（平成29年4月17日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 岐阜大学 土屋　能成

第21回（平成30年4月18日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 村田　篤信
* 技術賞
  + １ストローク多軸プレスを用いた540MPa級高張力鋼板によるＣＶＴ油圧室部品の量産化

ビヨンズ(株)　　　　　　　　中島 正起

(株)ヤマナカゴーキン　　　　真柄 弘樹

(株)森鉄工　　　　　　　　　森　 孝信

第22回（平成31年4月18日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 林　伸和
* 技術賞
  + 高強度7000系合金のテーパ管曲げ加工技術の開発と軽量アルミテーパハンドルへの適用

鈴覚(株)　　　　　　　　　　鈴木　格徳  
鈴覚(株)　　　　　　　　　　辰巳　晴夫  
鈴覚(株)　　　　　　　　　　田口　博嗣

静岡大学　　　　　　　　　 早川　邦夫

第23回（令和2年11月26日）

* 技術賞
  + 「自動車用熱交換器チューブ部品のロール成形技術の開発」

(株)デンソー 　　　　　　　 大坪秀正

(株)デンソー　　　　　　　　光川一浩

(株)デンソー　　　　　　　　吉田典生

(株)デンソー 桑原秀剛

第24回（令和3年4月28日）

* 功労賞
  + 東海支部における学会活動への貢献 　　　　テクノ　オフィス ジェイ 小沢　順造
  + 東海支部における学会活動への貢献 　　　　協豊ファクトリーサービス(株) 森下 忠晃

2023年度　日本塑性加工学会　東海支部賞

推 薦 ・ 申 請 書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 推 薦    申請者 | | 職　　名 | 氏　　名 | | 住　所（連絡先） | | | |
|  | 印 | |  | | | |
| 賞 名 | | 功労賞、研究賞、技術賞　　(該当項を○で囲んで下さい) | | | | | | |
| 業績名 | |  | | | | | | |
| 受　賞　候　補　者 | 候補者 | 所属（勤務先） | | 職　位 | | 氏　名 | 生年月日 | 会員資格 |
|  | |  | |  |  |  |
| 連　　名　　者 |  | |  | |  |  |  |
|  | |  | |  |  |  |
|  | |  | |  |  |  |
|  | |  | |  |  |  |
| 連 絡 先（住所、氏名、tel、 fax、e-mail） | | |  | | | | |
| 業　　績 | |  | | | | | | |

成果要約票

|  |
| --- |
| (a) 研究・開発のねらいとその背景 |
| (b) 既存の研究成果や技術の問題や限界 |
| (c) 研究・開発を通して得られた新しい知見 |
| (d) 開発された技術、機械または設備の長所や従来のものとの相違点 |
| (e) 上記技術、機械または設備によって、新たに可能となった事項あるいは解決された点 |
| (f) 上記技術・機械または設備による生産実績またはそれらの販売実績 |
| (g) 上記技術・機械または設備が、関連する分野あるいは業界に与えたかまたは与える影響 |